

短期社債（電子CP）の動向（2005年2月）

2005.2.10

短期社債（電子CP）の1月末の発行残高は、3兆5,628.40億円と前月比3,156.32億円増加した。1月末現在の発行登録企業数も前月末比19社増の109社。既発行企業は、今月は7社が増え合計59社となった。

1月末の発行企業数は合計51社であった。このうち、東京三菱銀行、オリックス、UFJ銀行の上位3社の発行残高は1兆5,700億円で電子CP全体の44%を占めている。また、ノンバンク・リース会社は手形CP同様電子CPでも恒常的に発行を行っており、オリックスを始めとする21社合計の発行残高は、1兆2,199億円となっている（前月比773億円増）。

一方、投資家の動向は前月までとあまり変化は見られない。アウトライト（買い切り）での取引の増加は残高の伸びが示す通りであるが、現先取引での扱いは昨年12月が1兆1,260億円と11月比ほぼ横這いで進展は見られない。依然として、手形CPの現先売買高（12月約64.7兆円、日本証券業協会統計による）に比べ、極めて小額に止まっている。現先取引の活性化については、市場関係者間でインフラ面等の検討が行なわれている。

発行レートは、前月同様手形CPとほぼ同じ水準で、発行の多いリース会社の一部に銘柄プレミアムが若干生じていた（0.003%～0.005%程度）。

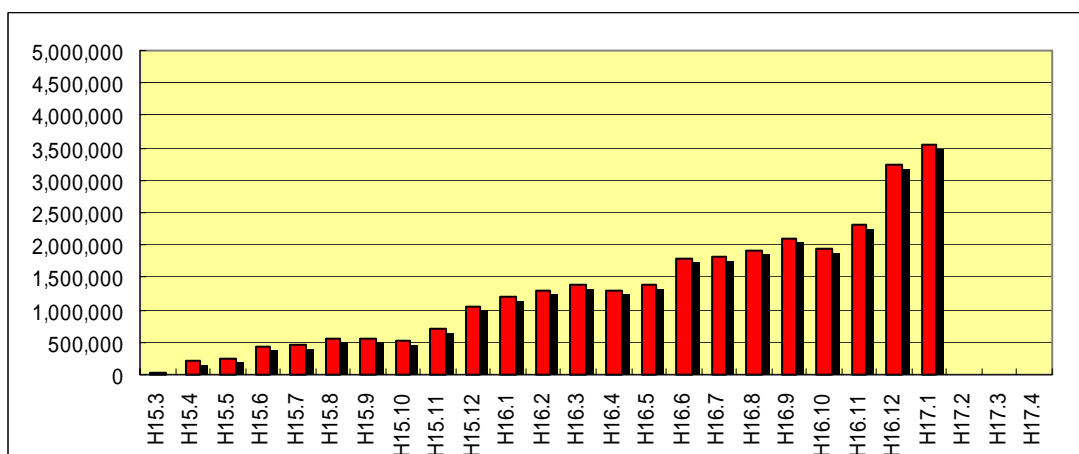
1月の初発行企業……大阪瓦斯、東レ、日本紙パルプ商事、大同特殊鋼、NECリース、エイパックス・コーポレーション（東京三菱銀行組成のABCP）、フォレスト・コーポレーション（三井住友銀行組成のABCP）

1月末で、発行残1千億円以上を記録した企業は以下のとおり。上位5社は先月と変わらず。

1.東京三菱銀行	7,433億円	6.ダイヤモンドリース	1,203億円
2.オリックス	5,215億円	7.新日本製鉄	1,170億円
3.UFJ銀行	3,052億円	8.三菱信託銀行	1,130億円
4.三菱商事	2,050億円	9.日立製作所	1,000億円
5.日立キャピタル	1,990億円		

短期社債月末残高

（H15年3月～H17年1月）



参考出所 (株)証券保管振替機構

(松倉)